

千葉市要町二一八（動力車会館）

（鉄電二二五八九・公衆三三三二二七〇七

79.5.11
No.116

日刊 動労千葉

國労の突然の組織介入を彈劾する！

九日一三時から動力車会館において、動労千葉第四回拡大支部代表者会議が開催され、4・28～5・1を中心とする動労「本部」暴力・窃盗集団による組織破壊「オルグ」粉碎の闘いの総括と当面の具体的な取組みについて討議・決定した。会議は、水野組織部長を座長に進められ、関川委員長の挨拶に続いて中野書記長から「総括と当面の取組みについて」提案を受け、討論のあと万場一致、執行部提案を確認・決定した。この第四回支部で決定された当面の取組みを全支部で着実に実行し、「本部」暴力集団による破壊攻撃を粉碎し、動労千葉のゆるぎない組織体制を築き上げよう。

四日間「オルグ」破産を自認する「本部」暴力集団！

動労「本部」は4・28～5・1の四日間にわたり動労千葉破壊「オルグ」をもつて、「千葉地本再建」の旗上げをめざし「短期決戦」最後の全国動員」と称して、全国から動員者をかき集めたのである。

しかし、われわれは動労「本部」の意図を完全に見抜き、彼らの動きを徹底的に封じ込め、肩すかしを行なうなど連日創意ある対応策をもつて闘つてきた。この四日間「オルグ」の中で「動労本部オルグ」は一人として獲得できず、「千葉地本再建」のもうろみは、完全にふきとんてしまつたのである。そして、五月一日、社会文化会館において開催された総括集会における「千葉に入れたことが成り、逆に「本部」に対する批判すら飛び出す始末であった。

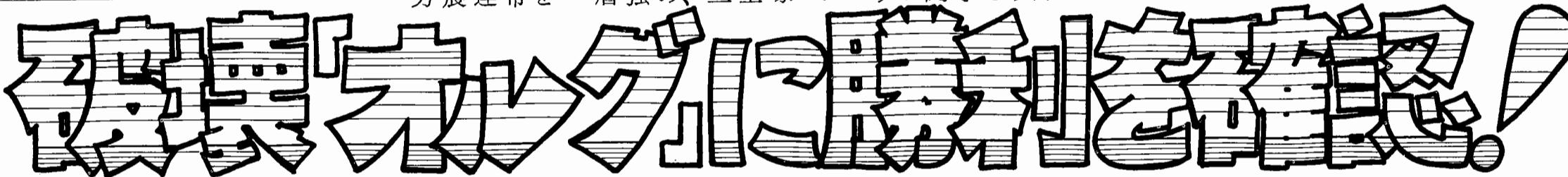
一四〇〇組合員の固い団結力の前に、「確認書」は一人として獲得できず、「千葉地本再建」のもうろみは、完全にふきとんてしまつたのである。そして、五月一日、社会文化会館において開催された総括集会における「千葉に入れたことが成り、逆に「本部」に対する批判すら飛び出す始末であった」とか「全国大会までに支部をつくる」などと言う「本部」発言でも明らかのように四日間「オルグ」の破産を自ら認めざるを得なかつたのである。

全支部の結成大会、団結署名貫徹を断固かちとろう！

四日間「オルグ」を中心とする動労「本部」暴力・窃盗集団からの悪辣な組織破壊攻撃に対する闘いは、文字通りこの暴力・窃盗集団との闘いに一つ一つ勝利しつつ、同時に、極めて困難な状況の中で、四月一八日の津田沼支部をはじめとする八支部における結成大会の圧倒的成功をつぎつぎとかちとり、われわれ動労千葉の着実な前進がかかるとされている。

そこでよりわれわれは、一四〇〇名が団結して「本部」暴力集団の組織破壊攻撃と闘つているときに、一人だけ樂をし、自分のことだけを考え、團結をみだし、國鉄労組に逃亡しようとする卑劣な部分に対し、仲間を敵に売り渡す裏切り分子として徹底的に追及しなければならない。動労千葉一四〇〇は一層強固な團結で、あらゆる組織破壊攻撃を断固粉碎しよう。

労農連帯を一層強め、三里塚・ジエット闘争を貫徹しよう！



— 第4回拡大支部代表者会議 —

全組合員・家族の強固な團結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！